

# 令和元年度の管理運営状況（駒沢オリンピック公園総合運動場）

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等																																			
管理状況	適切な管理の履行	施設・設備の保守点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者の安全安心・快適性を確保するため、施設・設備について、老朽化の状況等を踏まえ、都との緊密に連携、年間100件5千万円を超える修繕・工事を実施 (第二球技場及び補助競技場の人工芝修繕、トレーニングルーム空調機修繕、管制塔他監視カメラの設定変更及び機器機器更新、陸上競技場シャッター更新、第二球技場防球ネットの更新、体育館仮設席の修繕等)</li> </ul>																																			
		施設の提供について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●優先受付やスポーツ団体への働き掛け等により、多様な大規模大会を誘致 (日本GPプレミアTOKYO Combined Events Meet 2019、明治杯平成31年度全日本選抜レスリング選手権大会、第72回全日本フェンシング選手権大会個人戦、第39回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権、平成31年度第73回全日本総合バドミントン選手権大会、天皇杯平成31年度全日本レスリング選手権大会、第98回全国高等学校サッカー選手権大会、第27回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会、スポーツライミング第15回ボルダリングジャパンカップ2020等)</li> </ul>																																			
	安全性の確保	施設の設備の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全点検パトロールを定期的(月1回)に実施し、施設・設備の危険箇所の発見と対応</li> <li>●関係団体実務代表者による「連絡調整会議」を月1回実施し、一体的運営を確保</li> <li>●アリーナ床の「ささくれ」による事故の防止に向けて、日々の床チェックを行うとともにメンテナンス方法の外部研修を受講。専門業者による床面状況の状況確認を行うとともにウレタン塗装を実施</li> <li>●安全な施設提供を行うために、用具の保全や運用方法について内部研修を実施</li> <li>●豪雨時の水害対策として、対応マニュアルを整備し、シミュレーションを行い実践している。大雨が予想される際には、浸水が予測される施設に止水板や排水ポンプを設置した。また、排水能力向上のため、排水管の機能改善を実施</li> </ul>																																			
	防災への配慮・緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園管理者と合同で防災訓練の実施</li> <li>●AEDを全施設に配備、全職員が「普通救急救命講習」受講</li> <li>●飲料自動販売機の災害時における無料提供(41基)の確保</li> <li>●都から支給の帰宅困難者用備蓄品の保管・管理に加え、所独自に食料・飲料水・救急セット等備蓄品の確保</li> <li>●消防署、消防団、地元自治会の協力や地域住民参加による深沢地区合同防災訓練に参加・協力し、周辺地域全体の防災対策に寄与。この他、第三消防方面本部と合同で体育館での爆発テロを想定した訓練を実施。自衛消防隊として、通報連絡・避難誘導・応急救護・防護安全を実施</li> </ul>																																				
事業効果	利用の状況	個人利用者数 団体利用稼働率	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トレーニングルーム個人利用実績 204,221人(うち無料利用者6,916人) ※休館となるまで過去最高の利用実績。</li> <li>●施設稼働率(5施設) 平均稼働率実績 89.2%</li> </ul> <table border="1"> <caption>&lt;トレーニングルーム利用者数&gt; (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>177,472</td> <td>191,293</td> <td>197,617</td> <td>217,972</td> <td>222,701</td> <td>204,221</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により令和2年2月27日から休館 &lt;稼働率&gt; (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>体育館</th> <th>屋内球技場</th> <th>第一球技場</th> <th>第二球技場</th> <th>補助球技場</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td>95.5</td> <td>93.7</td> <td>82.2</td> <td>97.3</td> <td>98.3</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>90.1</td> <td>88.2</td> <td>81.5</td> <td>93.2</td> <td>93.1</td> <td>89.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響を受け令和2年2月後半から各イベントが中止となり、感染拡大防止対策として令和2年3月28日から全館休館 参考 R1年度4~1月 95.9 95.2 82.5 97.6 97.2 93.7</p>	年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	利用者数	177,472	191,293	197,617	217,972	222,701	204,221		体育館	屋内球技場	第一球技場	第二球技場	補助球技場	平均	H30年度	95.5	93.7	82.2	97.3	98.3	93.4	R1年度	90.1	88.2	81.5	93.2	93.1	89.2
	年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度																															
	利用者数	177,472	191,293	197,617	217,972	222,701	204,221																															
	体育館	屋内球技場	第一球技場	第二球技場	補助球技場	平均																																
H30年度	95.5	93.7	82.2	97.3	98.3	93.4																																
R1年度	90.1	88.2	81.5	93.2	93.1	89.2																																
スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>●駒沢ジュニアサッカースクールなどスポーツ振興事業22事業、ジュニアベースボール大会など自主事業41事業計63事業を計画実施した。そのうち、今年度より共同事業体として一般社団法人東京都レクリエーション協会による「女性のためのレクリエーション体操」などのスポーツ振興事業や株式会社オーエンスによる「ベースボールアカデミー」などの自主事業を実施</li> <li>うち新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、13事業を一部中止または中止</li> <li>●体育の日記念事業では、テックボール・クロスミントン・フラッグハントなどのニュースポーツを実施することでより多くの都民にスポーツへの関心を持ってもらう場とし、スポーツ実施率の向上につながる機会となるよう工夫。また、車いす卓球を取り入れ、障害者スポーツの理解を深める機会を提供</li> </ul>																																				
サービスの向上に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●年末年始休館時(12/29~1/3元日を除く)も、大会主催者の要望を踏まえて貸出し、全国高等学校サッカー選手権大会等に施設提供</li> <li>●オリンピック記念塔ライトアップを行い、東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>日本大会の気運を醸成</li> </ul>																																				
利用者のニーズの把握		<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルスの影響により利用者満足度調査は団体調査のみ実施、利用者懇談会は書面により開催</li> <li>●事業毎のアンケートや各施設に設置したご意見箱により利用者の声を収集</li> <li>●利用者の要望に応じトレーニングルームのシャワールームに暖房機能を追加した。また、屋内球技場や硬式野球場に冷水器を設置</li> </ul>																																				
その他公園との連携協力、大規模工事への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>●体育の日記念事業、6時間耐久レースなど、中央広場等の公園施設を活用した一体イベントを実施</li> <li>●「公園連絡調整」の担当を設置し、毎朝の打ち合わせを行い、情報の共有を徹底</li> <li>●警備業務では、施設毎に個別で警備を行うのではなく公園全体を一体として警備することで、園内全体の治安維持による事件・事故を未然に防止し、業務の効率化と費用を削減</li> <li>●廃棄物の処理においても公園と一体として取り扱うことにより費用を削減</li> <li>●硬式野球場の増築・改修工事について、東京都や施工業者、公園管理者、競技団体等と密接に連携しながら工事や再開に向けた調整を行い利用を再開。これらに加え屋外非常用発電設備設置工事、弓道場外周塀改修工事、陸上競技場トラック改修、体育館大規模改修に向けた調整などに全面的に協力</li> <li>●改築したばかりの屋内球技場や第一球技場、硬式野球場については、安定稼働の途上にあるため、東京都や施工業者と調整を行いながらきめ細やかな配慮し運用に努めている。</li> </ul>																																				